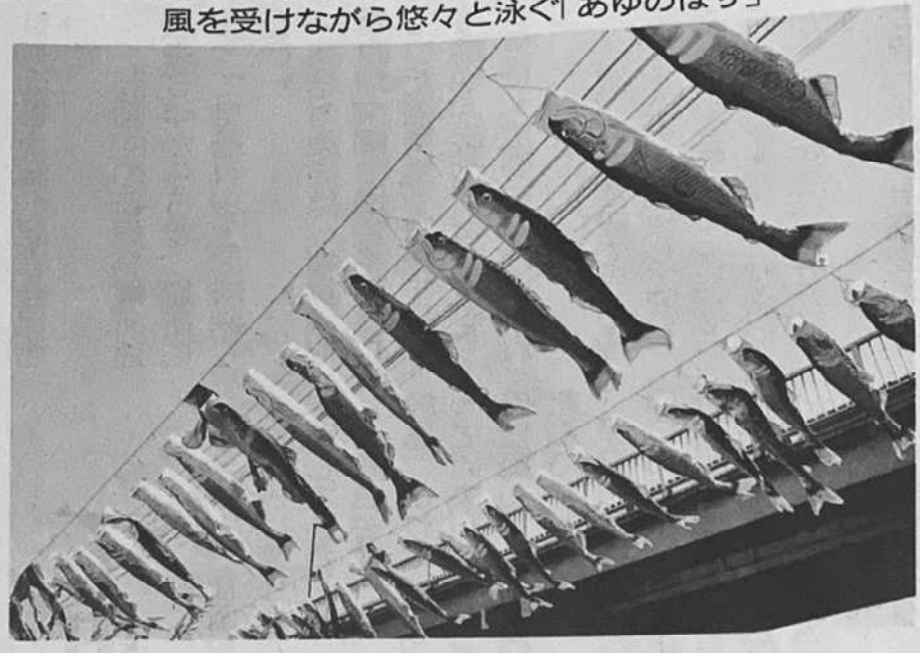


風を受けながら悠々と泳ぐ「あゆのぼり」



風に悠々 あゆのぼり

四国中央 金生川 120匹架け渡し

四国中央市川之江町の金生川に9日、

こいのぼりならぬ「あゆのぼり」120匹が登場した。青空の下、爽やかな風に乗って悠々と泳ぐ姿が住民ら

を和ませている。6月27日まで。設置したのは川の清掃活動や子ども向け自然観察会を実施している地元のボランティア団体「金生川ラバーズ」

(井上百代会長)。川の魅力をPRし、環境への意識を高め

てもらおうと2019年から取り組んでいる。今年

は台風シーズンを避けるため掲揚期間を前倒した。

あゆのぼりは長さ約2メートル。市内の幼稚園・保育園の子どもたちが昨年

に手掛けたイラストも描かれている。紙のまち資料館近く

読もう!



の栄橋下流側で9日、

会員ら約20人が設置作業に取り組んだ。2本のワイヤに60匹ずつ

取り付け、幅65メートルに架け渡した。参加した川之江小学校3年

高橋健悟君(8)は「きれいに並んだ。橋を通じて通学するので毎日

見るのが楽しみ」と

喜んでいた。

井上会長(67)は「新型コロナウィルス禍に

も負けずに泳いでいる姿を見て、季節感を

味わってほしい」と話した。

金生川はかつて生活工業排水で汚れていたが、近年は企業

の規制強化や地域住民・団体の清掃活動などで水質が改善。アユ

の稚魚も放流されており、釣りを楽しめるようになっている。

(菅亮輔)